

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『2024年 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患症例 の実態調査』

患者様(および保護者様)各位

この度、当院において、外来または入院治療を受けた患者様の診療情報等の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。この研究課題に対し診療情報を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報を利用・提供して欲しくない場合は、2024年10月31日までに各担当医師までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。本

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2024年9月1日より2024年10月31日までの間に、当院において、外来または入院治療を受けたアルコールを除く薬物使用に関連した精神疾患の患者様

【研究期間】

研究開始日より2025年3月31日まで

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部部長 松本俊彦

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

- * この調査は、精神科医療施設で治療を受けておられる患者様を対象として1987年以来継続的に実施されている日本で唯一の薬物関連精神疾患に関する全国調査です。この調査は、精神医療の現場における実態の把握と薬物関連精神疾患の回復に役立つ国の対策に、これまで多くの貴重な資料を提供してまいりました。
- * 2024年調査でも、近年における乱用薬物の実態や薬物使用患者様の生活背景や臨床的特徴を明らかにし、薬物使用に関連する問題を抱えている患者様の治療や地域支援に役立つ知見を集積し、今後、わが国の薬物政策の企画立案に際しての基礎資料をなることを目指します。
- * なお、調査データは、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部に所属する研究者のみが扱い、外部の研究者が利用することはありません。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等：診療録(年齢、性別、教育歴、就労状況、主に乱用していた薬物の種類、現在の精神医学的状態、入院歴、受診の経緯、自傷・自殺歴、自助グループや民間リハビリ施設、依存症集団療法の利用状況など)

提供する・情報の取得の方法

情報：カルテの診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】

2024年11月1日を予定しています。

ご自身の診療情報を利用・提供して欲しくない場合は、2024年10月31日までに各担当医師までご連絡ください。

【共同研究機関】

なし

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

機国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部(分担研究者: 松本俊彦)

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

tel:042-341-2712, 内線6221 fax:050-3156-1940

e-mail: tmatsu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)